

平成 30 年度

事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 事業概要

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、自然と人との共存を実感できる観光・レクリエーション・学習施設として、地域社会への貢献に努めるとともに、「市民が誇れる水族館、やさしい水族館」を目指し、環境、生態、生物多様性について教育的配慮のもと感動と楽しさを伴った展示活動を行い、水生生物に係る教育普及活動を行いました。

平成28年度に世界で初めて成功したフンボルトペンギンの凍結精子を用いた人工授精は、平成30年度も1羽がふ化育成し、3年連続、合計4羽のふ化育成に成功いたしました。更に今回は、新たな雌個体による成功であることから技術確立に向けた大きな前進となった他、フンボルトペンギンに貯精能を示唆する知見を得ることができました。自然繁殖では、イワトビペンギン1羽、ジェンツーペンギン2羽、フンボルトペンギン2羽の繁殖に成功いたしました。また、バンドウイルカにおいては、新江ノ島水族館と提携しての実施の結果、国内初となる国内輸送凍結精子を使用した人工授精により妊娠に至りましたが、途中流産となり出産には至りませんでした。しかし、更なる技術獲得への足掛かりを得ることができました。

下関市立水族館累計入館者数3,000万人を1月26日に達成し、関連イベントを開催いたしました。達成当日は、下関市長より3,000万人目のお客様へ記念品及び花束を贈呈していただきました。

日本鯨類研究協議会の事業活動に積極的に関与する一方、公益社団法人日本動物園水族館協会の種の保存に関する海獣類、ペンギン類の血統登録調査にこれまで通り協力いたしました。

特別企画展では国立科学博物館及び目黒寄生虫館と共同にて「寄生して生きていく虫の話～あなたのそばにいるかもね～」を開催し、関連企画として海響館サイエンスカフェ「目黒寄生虫館 館長による 寄生虫のお話」を実施しました。その他、ハロウィンやクリスマスなど季節感を盛り込んだイベントや恒例の「海響あーとコンテスト」をはじめ、小学生限定のイベント「海響館をめぐるクイズラリー」や保育園・幼稚園児などの未就学児を対象にしたイベント「かいてみようチャンピオン大会」を開催しました。

一階のイルカプール観覧パネル前で、イルカの発する音を図形に変換してリアルタイムに映像化できる装置を導入したイベント「イルカが音で描くデジタルアート“Draw - phin”」を29年度より継続した他、平成31年3月1日より、新たにかざすAI図鑑アプリ「LINNÉ LENS」を使った新体感イベントを開始しました。

平成30年6月～7月にかけて発生した西日本豪雨災害や、山口ゆめ花博の開催などがありましたが、平成30年度入館者数は610,205人（前年度対比100.4%、目標対比101.7%）となりました。

海響館サポーターズクラブは1万人の会員数を維持することができました。単年度で、ライムサポーター2,009名、オレンジサポーター1,281名、ブルーサポーター7,134名、レッドサポーター13社、ゴールドサポーター224名の新規・更新会員を獲得し、賛助会員会費収入は19,968,600円（前年度対比入会者：96.6%、賛助会員会費収入：97.3%）、年度末会員数は合計10,661名となりました。

2. 事業内容

(1) 生物に関する資料の収集、輸送及び飼育に関する事業

- ① 生物収集は、自家採集ならびに直接購入、自家輸送を積極的に実施し、3月末時点での飼育数は572種41,592点です。
- ② フグ目魚類の新たな展示種の導入を積極的に図り、飼育種としてキスジイトマキフグなど2種を初搬入した結果、これまでの取り扱いが10科227種となりました。

- ③ 奄美大島周辺海域にてアマミホシゾラフグの採卵を行い、孵化飼育実験に取り組んだ結果、稚魚期での生育データを得ることができました。
- ④ アンコウは通年飼育及び展示を目指し、予備飼育を継続しています。また、ヤリマンボウの入網情報はありませんでした。
- ⑤ 海響館内での繁殖に取り組んだ結果、ハナイカ、ハリセンボン、カクレクマノミなど 5 種を特設水槽などで展示しました。
- ⑥ ニホンアワサンゴやクラゲ類など、刺胞動物の飼育を推進し、採卵から育てたニホンアワサンゴの育成は最長で 2 年 6 ヶ月が経過し、約 1 cm 径のサイズに成長しました。また、本種の群体飼育展示に向けて、2 階温暖水槽の改修を実施しました。クラゲ類は累代繁殖にも取り組んでおり、ミズクラゲの累代繁殖個体を展示しています。
- ⑦ バンドウイルカの人工繁殖の取り組みとして、新江ノ島水族館と提携しての実施の結果、国内初となる国内輸送凍結精子を使用した人工授精により妊娠に至りましたが、途中流産となり出産には至りませんでした。しかし、更なる技術獲得への足掛かりを得ることができました。
- ⑧ フンボルトペンギンの凍結精子を用いた人工授精実験を行い、3 年連続となる 1 羽の繁殖に成功しました。今回は、新たな雌個体による成功であることから技術確立に向けた大きな前進となった他、フンボルトペンギンに貯精能がある可能性を新たにしました。この他にも、血統管理の下、繁殖による個体数の確保を行い、自然繁殖では、イワトビペンギン 1 羽、ジェンツーペンギン 2 羽、フンボルトペンギン 2 羽が巣立ちました。
- ⑨ 平成 28 年の春に生まれたバンドウイルカ 2 頭は順調に成育し、アクアシアターにも出演しています。
- ⑩ 新たな収集基地として調査中の鹿児島県の与論島より情報収集を行いました。
- ⑪ 他の水族館との連携を深めるとともに、青森県営浅虫水族館など 8 園館に対して生物交換などを実施しました。また、ブリーディングローンの終了に伴い、バンドウイルカ「パール」を神戸市立須磨海浜水族園より搬入し、バンドウイルカ「ダン」をアドベンチャーワールド（和歌山県）から京急油壺マリンパーク（神奈川県）に移動しました。
- ⑫ 餌料の適正な解凍・保存方法をチェックし、マニュアル化を図った他、海獣類用人工餌料の開発については、大分マリンパレス水族館の研究協力参加も得て、林兼産業株式会社との共同研究による実用化に向けた実証試験を開始しました。

(2) 生物の保護及び保全に関する事業

- ① 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査の結果、漂着や混獲など 10 件（4 種 10 頭）に対応しました。
- ② 周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域外保全に向けての取り組みとして、現地にて採取した本種のプラヌラを用いた飼育実験や骨格標本展示などによる啓発活動を継続しました。
- ③ 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動に参加しスナメリの繁殖に関する研究として飼育下スナメリの性ホルモン濃度の測定などを継続しました。また、光周期によって性ホルモンの動態が変化した研究成果について、The Journal of Reproduction and Development Vol. 64, No. 2 に論文が掲載されました。また、本協議会が設立 10 年を経過したことから、業績集を作成し、関係各機関に配布しました。
- ④ チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園のフンボルトペンギン保護プロジェクトに

協力した他、メトロポリタン公園付属動物園でフンボルトペンギンの飼育エリア拡張の計画があり、繁殖支援としてペンギン村にて新規開発した巣の形状、材質などに関する情報を提供しました。

- ⑤ 不正輸入された保護生物であるインドホシガメの預かり飼育個体については、鹿児島市平川動物園からの要請を受けて、飼育中の2点を搬出し、本種の預かり飼育を終了しました。

(3) 調査研究に関する事業

- ① 飼育中の両生類、魚類、無脊椎動物、海藻類の内、21種について繁殖に取り組み、調査研究を行いました。
- ② 下関周辺に生息する水生生物についての調査を実施し、「山口県日本海産魚類相の再評価」「山口県日本海産ヤギ類」について日本魚類学会などで発表しました。
- ③ プロジェクターの映像を用いた新たな手法によるバンドウイルカの認知研究を東海大学との共同研究にて継続しています。
- ④ 鯨類の座礁、混獲などへの対応や鯨類に関する調査・研究では、生存座礁した2件（バンドウイルカ属1頭、オガワコマッコウ1頭）、生存混獲した2件（ミンククジラ1頭、ザトウクジラ1頭）ならびに漂着などした死亡鯨類16件（スナメリ11頭、スジイルカ1頭、コブハクジラ1頭、オガワコマッコウ1頭、ミンククジラ1頭）の情報を得て、解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付した他、16件の目撃情報として1種及び不明9種をデータベースに記載しました。
この他に第2回シンポジウム「ミナミハンドウイルカの生態」で日本海西部のミナミバンドウイルカなどについて発表しました。
- ⑤ 近代捕鯨史に関わる資料調査を実施しました。
- ⑥ 山口大学、東京海洋大学大学院、水産大学校などの大学、沖縄美ら海水族館、新江ノ島水族館、などの水族館、山口県水産研究センター、萩博物館、目黒寄生虫館などの研究機関それぞれと共同研究を継続し、30年度中は、24件の共同研究を進めた他、28件の研究協力を行いました。この他にも複数の大学、研究所、博物館との間で研究協力、展示協力、情報交換を行いました。
- ⑦ 共著発表として、日本野生動物医学会大会、日本鳥学会2018年度大会などにて5題の発表がなされた他、Biogeographyに投稿論文が掲載されました。
- ⑧ 雑誌「マリン・アクアリスト」へ3題の記事掲載を行いました。
- ⑨ 鯨類飼育園館の健全な運営を目的に連携・協力する新たな組織として設立された日本鯨類研究協議会（JACRE）の活動に積極的に取り組み、JACRE主催の広報セミナーに参加し、第3回トレーニングセミナーでは鯨類長期飼育・繁殖推進委員会として1題の報告とトレーニングに関する1題の発表を、第2回水族館研究会では研究成果として2題の口頭発表と2題のポスター発表を行いました。また、鯨類長期飼育・繁殖推進委員会として1題の経過報告を行いました。
- ⑩ 第27回ペンギン会議全国大会及び第18回ペンギン飼育技術研究会に参加し、1題の口頭発表を行いました。また、ペンギン会議との連携によるチリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園との交流などを継続しています。
- ⑪ 日本魚類学会、日本水棲生物医学研究会、西日本フク研究会などの学会、研究会に参加し、口頭発表（8題）、ポスター発表（6題）を行なうとともに情報交換を行いました。
- ⑫ 立川展示部次長がInternational Marine Animal Trainers' Association（IMATA）サウンディン

グスの地域レポーターとして取り組んでいます。

(4) 普及啓発に関する事業

- ① 3階フグコーナーで展開している「ズームアップフグの不思議」のテーマを「フグの動き」から「フグの毒」に変更しました。
- ② 沖合の環境水槽照明のLED化やヘイケガニ水槽のレイアウト変更などを実施し、見やすくわかりやすい展示を行うとともに、木屋川水槽内に水中ポンプを新たに設置することで、生物の流れに対する動きを誘発しました。
- ③ 前年度に引き続き、テッポウウオの捕食行動展示の他、卵の中のトラザメの成長の様子やトビハゼの陸上行動などの展示種特有の暮らし方（生き様）を紹介しました。
- ④ フグ目魚類の繁殖を進めた他、展示水槽で産卵ふ化したオヤニラミ稚仔魚の展示や館内繁殖に成功したインドエメラルドパファー、ハリセンボン、キタユウレイクラゲなどの展示を行いました。
- ⑤ フグ目魚類は100種以上の常設展示を継続し、展示コレクションとして世界随一を維持させました。
- ⑥ 地域情報を収集し、話題性のある生物として、下関市内で出現したマミズクラゲや山口県産のヤリイカ、山口県で初確認されたタケウツボ、飼育が極めて難しいヘイケガニのゾエア幼生などを展示しました。
- ⑦ 参加型展示として「魚のエサやり体験」や「バックヤードであったか磯の観察会」を実施した他、飼育員による給餌解説などを継続しました。また、企画展ではハンズオンの手法を取り入れた写真撮影コーナーの設置や、スタンプを用いて前後期での展示内容の一部変更に伴う来館動機づけを行いました。
- ⑧ アクアシアターのプレゼンテーションは、仔イルカの成育に配慮しつつ、海産哺乳類の特性や能力などをわかりやすく紹介しました。3月16日より新テーマ「Five rules ～トレーナーの流儀～」を開始し、新たなビヘイビアの開発として「イルカの動きに反応しアシカが行動を起こす」、「アシカの動きに反応しイルカが行動を起こす」ビヘイビアをさらに発展させ公開しました。
- ⑨ アクティブなペンギンの行動展示である「ペンギン大編隊」のイベントを継続しました。
- ⑩ 「夜の水族館」では、館内外の照明演出などにより、昼との違いを際立たせる一方、期間による内容の差別化も行い、リピーター確保に努めました。
- ⑪ 企画展は、目黒寄生虫館、国立科学博物館との共同開催にて「寄生して生きていく虫 あなたのそばにいるかもね」を7～10月に実施した他、10～11月に「海響あーとコンテスト作品展」を開催しました。この他に特別水槽にて小企画展示を14回にわたり実施しました。
- ⑫ 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校と連携し、体験学習の場として実施している「オープンラボ」は、27のテーマをもって開催し、約6,500人の参加がありました。
- ⑬ 総合的な学習への取り組みとして水族館館内の校外学習プログラム12件、バックヤードツアー13件に対応しました。また就労体験型の飼育実習として22名の実習生（大学、専門学校生及び「10年目教員研修」）を受け入れました。教育現場へ赴いての活動は、14件の出前講座を実施した他、各種団体の主催する講演、職業講話などにも対応し、来館意欲の促進を図りました。講師として目黒寄生虫館館長、小川和夫先生を招聘し、海響館サイエンスカフェ「目黒寄生虫館館長による 寄生虫のお話」を開催しました。進藤魚類展示課主任が山口大学共同獣医学部にて授業科目担当として講義を行いました。更に、鯨類研究室にて鯨類に関する調査研究活動ならびに教育普及活動を実施し、下関鯨類研究

室報告第6号を発行した他、鯨の勉強会「鯨塾」を17回開催しました。この他にも各種団体の主催する催事での講義、講演など16件にも対応しました。

- ⑭ 解説ボランティアの育成として、飼育員による飼育生物に関する講話（おもしろ話、新着生物の紹介など）や企画展の内容説明会、宮島水族館や広島市植物公園を訪れての研修会を実施しました。この他にも自主企画活動である海の日解説ボランティアイベントや海響館キッズフェスタなどが実施されました。
- ⑮ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間298回の更新を行いました。また、ホームページの訪問者数（セッション数）は76万人を上回り、総ページビュー数は約293万件でした。
- ⑯ 第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会に参加し、1題のポスター発表を行うとともに普及啓発技術に係る情報交換を行いました。
- ⑰ 下関市立市民病院と連携をとり、ドルフィンセラピーを継続実施してきましたが、平成30年3月1日付の書面にて平成30年3月31日をもって同市民病院主催での事業を終了する旨の知らせがありました。今後については、山口大学 木谷教授との協議を継続中です。
- ⑱ 磯の生き物観察会やかざすAI 図鑑アプリ「LINNÉ LENS」を使った新体感イベント、海響館をめぐるクイズラリーなどの生き物に係る普及啓発活動を実施しました。
- ⑲ 協賛イベントとして長府企業フェスタに対応した他、下関サイエンスフェスティバルに参加・協力しました。

(5) 下関市の観光レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① 旅行エージェントなどへ企画旅行、幹旋団体旅行などのコース及び企画提案を行いました。
- ② 近隣観光施設と提携した観光客誘致、モアしものせき委員会による共同パンフレットの作成などを行い、旅行エージェントや近隣宿泊施設ならびに観光関係団体への営業活動を行いました。
- ③ 2018VISIT JAPAN 韓国市場説明会・商談会や2018 中国地方インバウンドフォーラムに参加した他、諸外国からの施設視察に対応しました。
- ④ 広報宣伝事業
 - i. 西日本を中心に主たる旅行エージェントを計画的に訪問した。更に首都圏の大手旅行エージェントの企画統括部門へのセールス活動を行いました。
 - ii. テレビ宣伝については、ゴールデンウィーク、夏期、春期において山口3局・福岡5局・広島4局、合計12局のテレビ局でCM放映を行った他、パブリシティ広報宣伝による広告掲載としてテレビ27番組、ラジオ1番組へ出稿しました。ラジオ宣伝については、下関市内のFMラジオ局においてオリジナル番組「海響館まるごと情報局」を制作し年間を通じてPRを行った他、同番組のインターネットラジオでの配信が継続されました。
 - iii. 新聞、雑誌、タウン誌、情報誌などには、ニュースリリースの発信のみならず、積極的な情報提供を広く行い、パブリシティによる広報活動を行いました。
 - iv. 市内に設置している広告看板により海響館のPRを行いました。
 - v. 福岡天神線高速バス車両2台に全面広告を施した他、市内路線バスでの車内放送による宣伝活動も行いました。
 - vi. 地域協賛広告、市内のPR活動として維新・海峡ウォーク、しものせき海峡まつり、海峡花火大会などへの協賛を行いました。

- vii. 広島球場での観光PRや北九州市でのサンプリングイベントなどに参加し、観光誘致活動を行いました。
- viii. 下関市をはじめ、近隣各種団体が主催するイベントにペンギン村PRキャラクターの着ぐるみを貸出し、イベントを盛り上げるとともにペンギン村のPRを行い、他団体との連携した広報宣伝活動を行いました。
- ix. オフィシャルホームページにて、年間を通じ最新情報を発信した他、ビジネスアカウントによるフェイスブック、インスタグラムでの情報発信も行いました。
- x. 広報・報道資料として64件を発信し、テレビ82番組、ラジオ57回、新聞58回などの取材を受け、海響館情報がマスコミに取り上げられました。
- xi. イルカが音で描くデジタルアート”Draw-phin”を実施し、広報宣伝のツールとして活用しました。
- xii. かざすAI図鑑アプリ「LINNÉ LENS」を使った新体感イベントを実施し、広報宣伝のツールとして活用しました。
- xiii. 下関市立水族館累計入館者3,000万人達成記念イベントを実施し、広報宣伝のツールとして活用しました。

⑤ 観光資源の開発及び観光事業関係団体などとの連携

- i. モアしものせき委員会(海峡メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワーク・はい!からっと横丁)による共同セールスや雑誌、新聞広告、イベントを実施しました。また、はい!からっと横丁との連携による、観覧車との「バリューチケット」、美祢市、長門市との連携による、秋芳洞、金子みすゞ記念館との「トライアングルチケット」及び、開館以来提携している海峡ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行いました。
- ii. 山口県観光スポーツ文化政策課との連携により「平成30年度観光客満足度調査」を行いました。
- iii. 秋吉台サファリランド、周南市徳山動物園、ときわ公園、やまぐちフラワーランドとの連携事業として「県内5施設連携スタンプラリー」を継続実施しました。
- iv. 2018年しものせき観光キャンペーンに協力しました。
- v. 下関商工会議所会員として、全国商工会議所観光振興大会2018 in 会津若松に参加しました。
- vi. 下関市が主催するイルミネーション水族館に協力しました。
- vii. 下関の特色ある水産物であるフグ・ウニ・クジラに関する下関ブランドを含む物産商品を海響館売店においても積極的に陳列、販売を行った。また、下関くじら食文化を守る会の会員として加盟継続しました。

(6) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップを運営し、オリジナルグッズなどの商品開発を行いました。
- ② レストランの運営は平成29年度に引続き株式会社ブランドゥに業務委託しています。

平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	36,660,652	33,783,729	2,876,923
普通預金	312,530,502	295,829,075	16,701,427
郵便振替専用口座	4,514	8,514	△ 4,000
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,845,171	0	1,845,171
未収金	56,350,749	50,244,988	6,105,761
たな卸資産	404,140	692,332	△ 288,192
前払金	0	15,636	△ 15,636
前払費用	39,963	2,235	37,728
立替金	2,855	0	2,855
仮払金	0	0	0
流動資産合計	457,838,546	430,576,509	27,262,037
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	44,275,931	41,815,430	2,460,501
役員退職慰労引当資産	13,520,000	25,155,000	△ 11,635,000
特定資産合計	57,795,931	66,970,430	△ 9,174,499
(3) その他固定資産			
什器備品	31,273,312	31,273,312	0
減価償却累計額	△ 22,507,215	△ 19,154,478	△ 3,352,737
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	10,278,097	13,630,834	△ 3,352,737
固定資産合計	217,074,028	229,601,264	△ 12,527,236
資産合計	674,912,574	660,177,773	14,734,801
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	19,032,056	18,317,177	714,879
未払金	193,585,268	193,833,455	△ 248,187
未払法人税等	713,400	4,050,600	△ 3,337,200
未払消費税等	7,439,698	5,269,140	2,170,558
預り金	3,536,666	3,178,650	358,016
仮受金	25,285,150	19,738,255	5,546,895
賞与引当金	14,055,195	0	14,055,195
流動負債合計	263,647,433	244,387,277	19,260,156
2. 固定負債			
退職給付引当金	44,275,931	41,815,430	2,460,501
役員退職慰労引当金	13,520,000	25,155,000	△ 11,635,000
固定負債合計	57,795,931	66,970,430	△ 9,174,499
負債合計	321,443,364	311,357,707	10,085,657
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	353,469,210	348,820,066	4,649,144
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	353,469,210	348,820,066	4,649,144
負債及び正味財産合計	674,912,574	660,177,773	14,734,801

平成30年度 貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	11,335,076	25,215,455	110,121		36,660,652
普通預金	110,011,357	181,930,642	20,588,503		312,530,502
郵便振替専用口座	4,514	0	0		4,514
定期預金	0	50,000,000	0		50,000,000
売掛金	0	1,845,171	0		1,845,171
未収金	19,928,605	500,275	35,921,869		56,350,749
たな卸資産	0	404,140	0		404,140
前払金	0	0	0		0
前払費用	0	0	39,963		39,963
立替金	2,855	0	0		2,855
仮払金	0	0	0		0
流動資産合計	141,282,407	259,895,683	56,660,456	0	457,838,546
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	49,000,000	0	0		49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0		100,000,000
基本財産合計	149,000,000	0	0	0	149,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	38,520,060	0	5,755,871		44,275,931
役員退職慰労引当資産	8,112,000	2,028,000	3,380,000		13,520,000
特定資産合計	46,632,060	2,028,000	9,135,871	0	57,795,931
(3) その他固定資産					
什器備品	0	31,273,312	0		31,273,312
減価償却累計額	0	△ 22,507,215	0		△ 22,507,215
電話加入権	226,800	151,200	1,134,000		1,512,000
その他固定資産合計	226,800	8,917,297	1,134,000	0	10,278,097
固定資産合計	195,858,860	10,945,297	10,269,871	0	217,074,028
資産合計	337,141,267	270,840,980	66,930,327	0	674,912,574
II 負債の部					
1. 流動負債					
買掛金	0	19,032,056	0		19,032,056
未払金	100,614,305	44,290,608	48,680,355		193,585,268
未払法人税等	0	713,400	0		713,400
未払消費税等	0	1,352,261	6,087,437		7,439,698
預り金	3,521,389	5,411	9,866		3,536,666
仮受金	25,285,150	0	0		25,285,150
賞与引当金	11,861,563	310,834	1,882,798		14,055,195
流動負債合計	141,282,407	65,704,570	56,660,456	0	263,647,433
2. 固定負債					
退職給付引当金	38,520,060	0	5,755,871		44,275,931
役員退職慰労引当金	8,112,000	2,028,000	3,380,000		13,520,000
固定負債合計	46,632,060	2,028,000	9,135,871	0	57,795,931
負債合計	187,914,467	67,732,570	65,796,327	0	321,443,364
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0		0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	203,108,410	1,134,000		353,469,210
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(0)	(0)		(149,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	149,226,800	203,108,410	1,134,000	0	353,469,210
負債及び正味財産合計	337,141,267	270,840,980	66,930,327	0	674,912,574

平成30年度 貸借対照表(公益目的事業会計)

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	11,335,076	7,390,018	3,945,058
普通預金	110,011,357	96,918,843	13,092,514
郵便振替専用口座	4,514	8,514	△ 4,000
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	19,928,605	16,444,790	3,483,815
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	15,636	△ 15,636
前払費用	0	0	0
立替金	2,855	0	2,855
仮払金	0	0	0
流動資産合計	141,282,407	120,777,801	20,504,606
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	38,520,060	36,379,424	2,140,636
役員退職慰労引当資産	8,112,000	15,093,000	△ 6,981,000
特定資産合計	46,632,060	51,472,424	△ 4,840,364
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	226,800	226,800	0
その他固定資産合計	226,800	226,800	0
固定資産合計	195,858,860	200,699,224	△ 4,840,364
資産合計	337,141,267	321,477,025	15,664,242
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	100,614,305	97,868,731	2,745,574
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	0	0	0
預り金	3,521,389	3,170,815	350,574
仮受金	25,285,150	19,738,255	5,546,895
賞与引当金	11,861,563	0	11,861,563
流動負債合計	141,282,407	120,777,801	20,504,606
2. 固定負債			
退職給付引当金	38,520,060	36,379,424	2,140,636
役員退職慰労引当金	8,112,000	15,093,000	△ 6,981,000
固定負債合計	46,632,060	51,472,424	△ 4,840,364
負債合計	187,914,467	172,250,225	15,664,242
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	149,226,800	149,226,800	0
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,226,800	149,226,800	0
負債及び正味財産合計	337,141,267	321,477,025	15,664,242

平成30年度 貸借対照表(収益事業等会計)

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	25,215,455	26,241,572	△ 1,026,117
普通預金	181,930,642	173,716,350	8,214,292
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,845,171	0	1,845,171
未収金	500,275	530,794	△ 30,519
たな卸資産	404,140	692,332	△ 288,192
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	259,895,683	251,181,048	8,714,635
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
役員退職慰労引当資産	2,028,000	3,773,250	△ 1,745,250
特定資産合計	2,028,000	3,773,250	△ 1,745,250
(3) その他固定資産			
什器備品	31,273,312	31,273,312	0
減価償却累計額	△ 22,507,215	△ 19,154,478	△ 3,352,737
電話加入権	151,200	151,200	0
その他固定資産合計	8,917,297	12,270,034	△ 3,352,737
固定資産合計	10,945,297	16,043,284	△ 5,097,987
資産合計	270,840,980	267,224,332	3,616,648
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	19,032,056	18,317,177	714,879
未払金	44,290,608	41,967,633	2,322,975
未払法人税等	713,400	4,050,600	△ 3,337,200
未払消費税等	1,352,261	650,995	701,266
預り金	5,411	5,411	0
仮受金	0	0	0
賞与引当金	310,834	0	310,834
流動負債合計	65,704,570	64,991,816	712,754
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
役員退職慰労引当金	2,028,000	3,773,250	△ 1,745,250
固定負債合計	2,028,000	3,773,250	△ 1,745,250
負債合計	67,732,570	68,765,066	△ 1,032,496
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	203,108,410	198,459,266	4,649,144
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	203,108,410	198,459,266	4,649,144
負債及び正味財産合計	270,840,980	267,224,332	3,616,648

平成30年度 貸借対照表(法人会計)

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	110,121	152,139	△ 42,018
普通預金	20,588,503	25,193,882	△ 4,605,379
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	35,921,869	33,269,404	2,652,465
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	39,963	2,235	37,728
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	56,660,456	58,617,660	△ 1,957,204
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,755,871	5,436,006	319,865
役員退職慰労引当資産	3,380,000	6,288,750	△ 2,908,750
特定資産合計	9,135,871	11,724,756	△ 2,588,885
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	1,134,000	1,134,000	0
その他固定資産合計	1,134,000	1,134,000	0
固定資産合計	10,269,871	12,858,756	△ 2,588,885
資産合計	66,930,327	71,476,416	△ 4,546,089
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	48,680,355	53,997,091	△ 5,316,736
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	6,087,437	4,618,145	1,469,292
預り金	9,866	2,424	7,442
仮受金	0	0	0
賞与引当金	1,882,798	0	1,882,798
流動負債合計	56,660,456	58,617,660	△ 1,957,204
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,755,871	5,436,006	319,865
役員退職慰労引当金	3,380,000	6,288,750	△ 2,908,750
固定負債合計	9,135,871	11,724,756	△ 2,588,885
負債合計	65,796,327	70,342,416	△ 4,546,089
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,134,000	1,134,000	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,134,000	1,134,000	0
負債及び正味財産合計	66,930,327	71,476,416	△ 4,546,089

平成30年度 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,000	65,000	△ 55,000
② 受取会費			
賛助会員受取会費	19,968,600	20,524,600	△ 556,000
③ 事業収益			
管理受託事業収益	891,768,093	825,852,593	65,915,500
館内販売事業収益	231,797,180	227,198,411	4,598,769
レストラン事業収益	1,800,000	1,800,000	0
写真販売事業収益	1,949,217	2,017,969	△ 68,752
自動販売機等事業収益	18,726,261	18,607,059	119,202
④ 受取補助金等			
受取民間補助金	0	0	0
⑤ 雑収益			
受取利息	5,500	33,000	△ 27,500
雑収益	3,044,454	3,120,169	△ 75,715
経常収益計	1,169,069,305	1,099,218,801	69,850,504
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	11,280,000	11,280,000	0
給料	100,288,187	92,605,907	7,682,280
職員手当	82,913,705	68,044,134	14,869,571
退職給付費用	5,556,935	6,390,946	△ 834,011
役員退職慰労金	906,750	1,218,750	△ 312,000
福利厚生費	29,974,463	29,096,098	878,365
臨時職員賃金	22,730,718	28,030,910	△ 5,300,192
会議費	11,530	102,270	△ 90,740
旅費交通費	3,412,803	4,985,010	△ 1,572,207
通信運搬費	1,399,687	1,089,724	309,963
減価償却費	3,352,737	1,998,903	1,353,834
消耗什器備品費	3,599,671	5,537,738	△ 1,938,067
消耗品費	24,241,620	31,388,337	△ 7,146,717
水族購入費	4,678,712	4,688,831	△ 10,119
展示資料購入費	39,844	9,328	30,516
飼料購入費	34,616,569	31,042,732	3,573,837
原材料費	240,031	446,299	△ 206,268
修繕費	29,702,472	24,207,010	5,495,462
印刷製本費	3,700,836	3,845,610	△ 144,774
燃料費	1,062,539	908,232	154,307
光熱水料費	198,399,608	179,912,828	18,486,780
賃借料	14,706,737	14,677,238	29,499
保険料	1,114,850	1,148,880	△ 34,030
諸謝金	0	0	0
手数料	1,799,233	1,464,752	334,481
広報宣伝費	0	0	0
租税公課	5,441,908	5,432,763	9,145
支払負担金	217,500	504,999	△ 287,499
委託費	229,754,052	193,585,495	36,168,557
期首商品棚卸高	692,332	1,219,346	△ 527,014
館内販売仕入費	153,383,067	150,807,371	2,575,696
期末商品棚卸高	△ 404,140	△ 692,332	288,192
雑費	27,800	43,405	△ 15,605

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	4,097,400	4,064,400	33,000
給料	14,778,813	14,724,860	53,953
職員手当	13,569,984	12,162,625	1,407,359
退職給付費用	917,346	0	917,346
役員退職慰労金	718,250	406,250	312,000
福利厚生費	4,813,961	4,897,258	△ 83,297
臨時職員賃金	4,288,742	4,249,101	39,641
会議費	559,429	672,106	△ 112,677
旅費交通費	3,951,204	4,006,663	△ 55,459
交際費	0	0	0
通信運搬費	1,638,669	1,256,616	382,053
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	510,797	2,016,360	△ 1,505,563
消耗品費	3,476,771	4,259,855	△ 783,084
原材料費	2,406	5,903	△ 3,497
修繕費	1,497,506	717,158	780,348
印刷製本費	506,042	779,554	△ 273,512
燃料費	164,775	193,485	△ 28,710
光熱水料費	10,349,922	9,345,516	1,004,406
賃借料	4,486,711	4,678,995	△ 192,284
保険料	632,350	667,031	△ 34,681
諸謝金	76,321	14,934	61,387
手数料	11,204,781	11,204,839	△ 58
広報宣伝費	6,061,762	6,260,673	△ 198,911
租税公課	20,122,990	18,505,927	1,617,063
支払負担金	1,311,102	1,344,671	△ 33,569
委託費	85,031,371	82,626,685	2,404,686
雑費	94,600	0	94,600
経常費用計	1,163,706,761	1,084,082,979	79,623,782
評価損益等調整前当期経常増減額	5,362,544	15,135,822	△ 9,773,278
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,362,544	15,135,822	△ 9,773,278
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,362,544	15,135,822	△ 9,773,278
法人税、住民税及び事業税	713,400	4,050,600	△ 3,337,200
当期一般正味財産増減額	4,649,144	11,085,222	△ 6,436,078
一般正味財産期首残高	348,820,066	337,734,844	11,085,222
一般正味財産期末残高	353,469,210	348,820,066	4,649,144
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	353,469,210	348,820,066	4,649,144

平成30年度 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	10,000	0	0		10,000
② 受取会費					
賛助会員受取会費	19,968,600	0	0		19,968,600
③ 事業収益					
管理受託事業収益	732,841,097	0	158,926,996		891,768,093
館内販売事業収益	0	231,797,180	0		231,797,180
レストラン事業収益	0	1,800,000	0		1,800,000
写真販売事業収益	0	1,949,217	0		1,949,217
自動販売機等事業収益	0	18,726,261	0		18,726,261
④ 受取補助金等					
受取民間補助金	0	0	0		0
⑤ 雑収益					
受取利息	0	5,500	0		5,500
雑収益	32,324	2,996,990	15,140		3,044,454
経常収益計	752,852,021	257,275,148	158,942,136	0	1,169,069,305
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	9,060,000	2,220,000			11,280,000
給料	95,858,387	4,429,800			100,288,187
職員手当	79,267,207	3,646,498			82,913,705
退職給付費用	5,556,935	0			5,556,935
役員退職慰労金	0	906,750			906,750
福利厚生費	27,972,261	2,002,202			29,974,463
臨時職員賃金	17,050,819	5,679,899			22,730,718
会議費	0	11,530			11,530
旅費交通費	3,412,803	0			3,412,803
通信運搬費	1,261,810	137,877			1,399,687
減価償却費	0	3,352,737			3,352,737
消耗什器備品費	3,599,671	0			3,599,671
消耗品費	21,549,063	2,692,557			24,241,620
水族購入費	4,678,712	0			4,678,712
展示資料購入費	39,844	0			39,844
飼料購入費	34,616,569	0			34,616,569
原材料費	240,031	0			240,031
修繕費	29,324,472	378,000			29,702,472
印刷製本費	3,600,396	100,440			3,700,836
燃料費	1,062,539	0			1,062,539
光熱水料費	195,404,780	2,994,828			198,399,608
賃借料	4,101,394	10,605,343			14,706,737
保険料	1,114,850	0			1,114,850
諸謝金	0	0			0
手数料	1,710,481	88,752			1,799,233
広報宣伝費	0	0			0
租税公課	0	5,441,908			5,441,908
支払負担金	0	217,500			217,500
委託費	215,791,932	13,962,120			229,754,052
期首商品棚卸高	0	692,332			692,332
館内販売仕入費	0	153,383,067			153,383,067
期末商品棚卸高	0	△ 404,140			△ 404,140
雑費	0	27,800			27,800

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
② 管理費					
役員報酬			4,097,400		4,097,400
給料			14,778,813		14,778,813
職員手当			13,569,984		13,569,984
退職給付費用			917,346		917,346
役員退職慰労金			718,250		718,250
福利厚生費			4,813,961		4,813,961
臨時職員賃金			4,288,742		4,288,742
会議費			559,429		559,429
旅費交通費			3,951,204		3,951,204
交際費			0		0
通信運搬費			1,638,669		1,638,669
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			510,797		510,797
消耗品費			3,476,771		3,476,771
原材料費			2,406		2,406
修繕費			1,497,506		1,497,506
印刷製本費			506,042		506,042
燃料費			164,775		164,775
光熱水料費			10,349,922		10,349,922
賃借料			4,486,711		4,486,711
保険料			632,350		632,350
諸謝金			76,321		76,321
手数料			11,204,781		11,204,781
広報宣伝費			6,061,762		6,061,762
租税公課			20,122,990		20,122,990
支払負担金			1,311,102		1,311,102
委託費			85,031,371		85,031,371
雑費			94,600		94,600
経常費用計	756,274,956	212,567,800	194,864,005	0	1,163,706,761
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,422,935	44,707,348	△ 35,921,869	0	5,362,544
評価損益等計	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 3,422,935	44,707,348	△ 35,921,869	0	5,362,544
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産売却益					
什器備品売却益	0	0	0		0
電話加入権売却益	0	0	0		0
② 固定資産受贈益					
投資有価証券受贈益	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産売却損					
什器備品売却損	0	0	0		0
電話加入権売却損	0	0	0		0
② 固定資産減損損失					
投資有価証券減損損失	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,422,935	△ 39,344,804	35,921,869		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	5,362,544	0	0	5,362,544
法人税、住民税及び事業税	0	713,400	0		713,400
当期一般正味財産増減額	0	4,649,144	0	0	4,649,144
一般正味財産期首残高	149,226,800	198,459,266	1,134,000		348,820,066
一般正味財産期末残高	149,226,800	203,108,410	1,134,000	0	353,469,210
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	149,226,800	203,108,410	1,134,000	0	353,469,210

平成30年度 正味財産増減計算書(公益目的事業会計)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額	差 異	前年度決算額	増 減
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	(c)	(b) - (c)
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産受取利息	80,000			80,000	10,000	70,000	65,000	△ 55,000
② 受取会費								
賛助会員受取会費	23,000,000			23,000,000	19,968,600	3,031,400	20,524,600	△ 556,000
③ 事業収益								
管理受託事業収益	747,623,663		△ 14,782,566	732,841,097	732,841,097	0	670,079,390	62,761,707
④ 受取補助金等								
受取民間補助金	0			0	0	0	0	0
⑤ 雑収益								
受取利息	0			0	0	0	0	0
雑収益	0			0	32,324	△ 32,324	59,573	△ 27,249
経常収益計	770,703,663	0	△ 14,782,566	755,921,097	752,852,021	3,069,076	690,728,563	62,123,458
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	9,060,000			9,060,000	9,060,000	0	9,060,000	0
給料	104,324,310		△ 8,465,923	95,858,387	95,858,387	0	90,628,507	5,229,880
職員手当	83,324,350		△ 15,500,000	67,824,350	79,267,207	△ 11,442,857	65,453,708	13,813,499
退職給付費用	6,755,550			6,755,550	5,556,935	1,198,615	6,390,946	△ 834,011
役員退職慰労金	975,600			975,600	0	975,600	975,000	△ 975,000
福利厚生費	31,092,000		△ 2,000,000	29,092,000	27,972,261	1,119,739	26,979,958	992,303
臨時職員賃金	37,002,400		△ 19,646,819	17,355,581	17,050,819	304,762	19,238,083	△ 2,187,264
旅費交通費	3,855,000			3,855,000	3,412,803	442,197	4,927,530	△ 1,514,727
通信運搬費	1,167,260		94,550	1,261,810	1,261,810	0	942,635	319,175
消耗什器備品費	3,689,650			3,689,650	3,599,671	89,979	5,537,738	△ 1,938,067
消耗品費	20,124,250		1,794,260	21,918,510	21,549,063	369,447	27,681,984	△ 6,132,921
水族購入費	5,149,000			5,149,000	4,678,712	470,288	4,688,831	△ 10,119
展示資料購入費	47,000			47,000	39,844	7,156	9,328	30,516
飼料購入費	34,662,000			34,662,000	34,616,569	45,431	31,042,732	3,573,837
原材料費	528,150			528,150	240,031	288,119	446,299	△ 206,268
修繕費	33,283,550		△ 3,933,158	29,350,392	29,324,472	25,920	24,207,010	5,117,462
印刷製本費	3,955,000		△ 300,000	3,655,000	3,600,396	54,604	3,845,610	△ 245,214
燃料費	1,256,150			1,256,150	1,062,539	193,611	908,232	154,307
光熱水料費	177,706,050		17,698,730	195,404,780	195,404,780	0	176,783,795	18,620,985
賃借料	4,705,750			4,705,750	4,101,394	604,356	4,034,962	66,432
保険料	1,177,000			1,177,000	1,114,850	62,150	1,148,880	△ 34,030
諸謝金	0			0	0	0	0	0
手数料	1,302,000		408,481	1,710,481	1,710,481	0	1,441,748	268,733
租税公課	0			0	0	0	0	0
委託費	210,811,215		8,978,522	219,789,737	215,791,932	3,997,805	191,012,357	24,779,575
雑費	0			0	0	0	0	0
経常費用計	775,953,235	0	△ 20,871,357	755,081,878	756,274,956	△ 1,193,078	697,385,873	58,889,083
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,249,572	0	6,088,791	839,219	△ 3,422,935	4,262,154	△ 6,657,310	3,234,375
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,249,572	0	6,088,791	839,219	△ 3,422,935	4,262,154	△ 6,657,310	3,234,375
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	5,249,572			5,249,572	3,422,935	1,826,637	6,657,310	△ 3,234,375
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	6,088,791	6,088,791	0	6,088,791	0	0
法人税、住民税及び事業税	0			0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	6,088,791	6,088,791	0	6,088,791	0	0
一般正味財産期首残高	150,512,000			150,512,000	149,226,800	1,285,200	149,226,800	0
一般正味財産期末残高	150,512,000	0	6,088,791	156,600,791	149,226,800	7,373,991	149,226,800	0
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	150,512,000	0	6,088,791	156,600,791	149,226,800	7,373,991	149,226,800	0

平成30年度 正味財産増減計算書(収益事業等会計)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額	差 異	前年度決算額	増 減
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
館内販売事業収益	251,398,000			251,398,000	231,797,180	19,600,820	227,198,411	4,598,769
レストラン事業収益	1,800,000			1,800,000	1,800,000	0	1,800,000	0
写真販売事業収益	2,090,000			2,090,000	1,949,217	140,783	2,017,969	△ 68,752
自動販売機等事業収益	19,465,000			19,465,000	18,726,261	738,739	18,607,059	119,202
② 雑収益								
受取利息	40,000			40,000	5,500	34,500	33,000	△ 27,500
雑収益	2,687,000			2,687,000	2,996,990	△ 309,990	3,041,738	△ 44,748
経常収益計	277,480,000	0	0	277,480,000	257,275,148	20,204,852	252,698,177	4,576,971
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	2,220,000			2,220,000	2,220,000	0	2,220,000	0
給料	3,723,000		706,800	4,429,800	4,429,800	0	1,977,400	2,452,400
職員手当	4,998,400			4,998,400	3,646,498	1,351,902	2,590,426	1,056,072
退職給付費用	110,000			110,000	110,000	0	0	0
役員退職慰労金	243,900			243,900	906,750	△ 662,850	243,750	663,000
福利厚生費	3,114,550			3,114,550	2,002,202	1,112,348	2,116,140	△ 113,938
臨時職員賃金	14,428,000		△ 6,277,494	8,150,506	5,679,899	2,470,607	8,792,827	△ 3,112,928
会議費	240,000			240,000	11,530	228,470	102,270	△ 90,740
旅費交通費	208,000			208,000	208,000	0	57,480	△ 57,480
通信運搬費	197,000			197,000	137,877	59,123	147,089	△ 9,212
減価償却費	3,352,736			3,352,736	3,352,737	△ 1	1,998,903	1,353,834
消耗什器備品費	460,000			460,000	460,000	0	0	0
消耗品費	5,296,000		△ 326,000	4,970,000	2,692,557	2,277,443	3,706,353	△ 1,013,796
原材料費	0			0	0	0	0	0
修繕費	52,000		326,000	378,000	378,000	0	0	378,000
印刷製本費	129,000			129,000	100,440	28,560	0	100,440
燃料費	0			0	0	0	0	0
光熱水料費	3,078,000			3,078,000	2,994,828	83,172	3,129,033	△ 134,205
賃借料	11,607,000			11,607,000	10,605,343	1,001,657	10,642,276	△ 36,933
保険料	0			0	0	0	0	0
諸謝金	0			0	0	0	0	0
手数料	47,000		41,752	88,752	88,752	0	23,004	65,748
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	6,855,000			6,855,000	5,441,908	1,413,092	5,432,763	9,145
支払負担金	870,000			870,000	217,500	652,500	504,999	△ 287,499
委託費	2,825,000		12,050,694	14,875,694	13,962,120	913,574	2,573,138	11,388,982
期首商品棚卸高	2,230,493			2,230,493	692,332	1,538,161	1,219,346	△ 527,014
館内販売仕入費	162,246,000		△ 6,521,752	155,724,248	153,383,067	2,341,181	150,807,371	2,575,696
期末商品棚卸高	△ 2,230,493			△ 2,230,493	△ 404,140	△ 1,826,353	△ 692,332	288,192
雑費	100,000			100,000	27,800	72,200	43,405	△ 15,605
経常費用計	226,400,586	0	0	226,400,586	212,567,800	13,832,786	197,635,641	14,932,159
評価損益等調整前当期経常増減額	51,079,414	0	0	51,079,414	44,707,348	6,372,066	55,062,536	△ 10,355,188
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	51,079,414	0	0	51,079,414	44,707,348	6,372,066	55,062,536	△ 10,355,188
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 40,008,150			△ 40,008,150	△ 39,344,804	△ 663,346	△ 39,926,714	581,910
税引前当期一般正味財産増減額	11,071,264	0	0	11,071,264	5,362,544	5,708,720	15,135,822	△ 9,773,278
法人税、住民税及び事業税	5,070,000			5,070,000	713,400	4,356,600	4,050,600	△ 3,337,200
当期一般正味財産増減額	6,001,264	0	0	6,001,264	4,649,144	1,352,120	11,085,222	△ 6,436,078
一般正味財産期首残高	176,630,996			176,630,996	198,459,266	△ 21,828,270	187,374,044	11,085,222
一般正味財産期末残高	182,632,260	0	0	182,632,260	203,108,410	△ 20,476,150	198,459,266	4,649,144
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	182,632,260	0	0	182,632,260	203,108,410	△ 20,476,150	198,459,266	4,649,144

平成30年度 正味財産増減計算書(法人会計)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
管理受託事業収益	144,904,337		14,022,659	158,926,996	158,926,996	0	155,773,203	3,153,793
② 雑収益								
受取利息	0			0	0	0	0	0
雑収益	0			0	15,140	△ 15,140	18,858	△ 3,718
経常収益計	144,904,337	0	14,022,659	158,926,996	158,942,136	△ 15,140	155,792,061	3,150,075
(2) 経常費用								
① 管理費								
役員報酬	4,315,000			4,315,000	4,097,400	217,600	4,064,400	33,000
給料	15,588,690		△ 808,089	14,780,601	14,778,813	1,788	14,724,860	53,953
職員手当	15,164,250		△ 3,202,215	11,962,035	13,569,984	△ 1,607,949	12,162,625	1,407,359
退職給付費用	1,009,450		311,750	1,321,200	917,346	403,854	0	917,346
役員退職慰労金	406,500			406,500	718,250	△ 311,750	406,250	312,000
福利厚生費	5,203,450			5,203,450	4,813,961	389,489	4,897,258	△ 83,297
臨時職員賃金	3,391,600		897,142	4,288,742	4,288,742	0	4,249,101	39,641
会議費	815,000			815,000	559,429	255,571	672,106	△ 112,677
旅費交通費	4,098,000			4,098,000	3,951,204	146,796	4,006,663	△ 55,459
交際費	100,000			100,000	0	100,000	0	0
通信運搬費	1,346,740		291,929	1,638,669	1,638,669	0	1,256,616	382,053
消耗什器備品費	590,350			590,350	510,797	79,553	2,016,360	△ 1,505,563
消耗品費	3,754,050		△ 234,162	3,519,888	3,476,771	43,117	4,259,855	△ 783,084
原材料費	10,850			10,850	2,406	8,444	5,903	△ 3,497
修繕費	2,958,450		△ 188,883	2,769,567	1,497,506	1,272,061	717,158	780,348
印刷製本費	1,126,000			1,126,000	506,042	619,958	779,554	△ 273,512
燃料費	308,850			308,850	164,775	144,075	193,485	△ 28,710
光熱水料費	9,352,950		996,972	10,349,922	10,349,922	0	9,345,516	1,004,406
賃借料	4,927,250			4,927,250	4,486,711	440,539	4,678,995	△ 192,284
保険料	676,000			676,000	632,350	43,650	667,031	△ 34,681
諸謝金	15,000		61,321	76,321	76,321	0	14,934	61,387
手数料	11,760,000			11,760,000	11,204,781	555,219	11,204,839	△ 58
広報宣伝費	5,816,000		245,762	6,061,762	6,061,762	0	6,260,673	△ 198,911
租税公課	21,443,000			21,443,000	20,122,990	1,320,010	18,505,927	1,617,063
支払負担金	1,721,000			1,721,000	1,311,102	409,898	1,344,671	△ 33,569
委託費	63,664,485		22,499,830	86,164,315	85,031,371	1,132,944	82,626,685	2,404,686
雑費	100,000			100,000	94,600	5,400	0	94,600
経常費用計	179,662,915	0	20,871,357	200,534,272	194,864,005	5,670,267	189,061,465	5,802,540
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 34,758,578	0	△ 6,848,698	△ 41,607,276	△ 35,921,869	△ 5,685,407	△ 33,269,404	△ 2,652,465
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 34,758,578	0	△ 6,848,698	△ 41,607,276	△ 35,921,869	△ 5,685,407	△ 33,269,404	△ 2,652,465
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	34,758,578			34,758,578	35,921,869	△ 1,163,291	33,269,404	2,652,465
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 6,848,698	△ 6,848,698	0	△ 6,848,698	0	0
法人税、住民税及び事業税	0			0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 6,848,698	△ 6,848,698	0	△ 6,848,698	0	0
一般正味財産期首残高	0			0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0
一般正味財産期末残高	0	0	△ 6,848,698	△ 6,848,698	1,134,000	△ 7,982,698	1,134,000	0
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	△ 6,848,698	△ 6,848,698	1,134,000	△ 7,982,698	1,134,000	0